



病虫害防除情報

令和4年 9月 5日
埼玉県病虫害防除所

1 情報名 チャのチャノキイロアザミウマについて

2 情報内容

(1) チャノキイロアザミウマの発生状況

8月中旬の発生予察調査では、虫数（4地点の成虫・幼虫数）が、過去10年間で最も多い結果となり、これは平年の約8倍の発生量です（図1）。

例年、9月は発生量が最も多くなるので、今後注意が必要です。

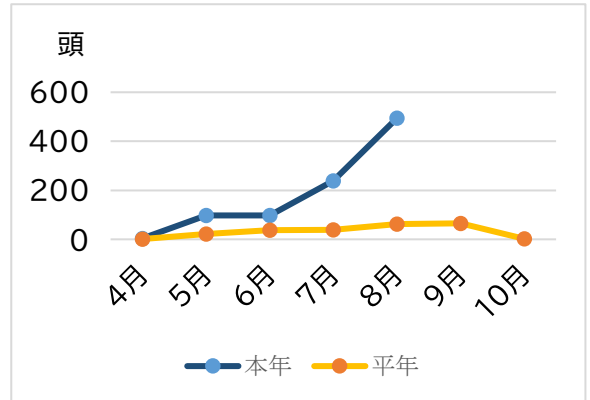


図1 チャノキイロアザミウマの発生量（4地点の成虫・幼虫数）

(2) チャノキイロアザミウマの特徴と被害

成虫の体長は0.8～0.9mmで体色は黄色で前翅は灰色です（写真1）。成虫で越冬し、4月から10月までの間に7～8回世代を繰り返します。



写真1 チャノキイロアザミウマ（成虫）

被害は、成虫、幼虫が、新芽、新葉、新梢を吸汁加害し、食害された部分は褐変硬化します（写真2、3）。



写真2 葉裏のスジ状の被害



写真3 葉表からも葉裏の被害が観察できる場合がある

(3) 防除のポイント

乾燥した晴天が続くと急激に増殖し、秋芽の萌芽・生育期は最も被害を受けます。特に萌芽期～生育初期の加害は被害が大きくなるので、芽の生育状態に合わせて、表1を参考にタイミングを逃さないよう防除しましょう。

表1 チャのチャノキイロアザミウマの防除薬剤例

薬 剤 名	I R A C コード	使 用 時 期	使用回数
MR. ジョーカー水和剤	3 A	摘採 2 1 日前まで	2 回以内
コテツフロアブル*	1 3	摘採 7 日前まで	2 回以内
ガンバ水和剤*	1 2 A	摘採 1 4 日前まで	1 回
スタークル顆粒水溶剤/ アルバリン顆粒水和剤	4 A	摘採 7 日前まで	2 回
ハチハチフロアブル*	2 1 A	摘採 1 4 日前まで	1 回
ウララDF	2 9	摘採 7 日前まで	1 回
コルト顆粒水和剤	9 B	摘採 7 日前まで	2 回以内
テッパン液剤	2 8	摘採 3 日前まで	1 回
グレーシア乳剤	3 0	摘採 1 4 日前まで	1 回

* 劇物

(使用基準は令和4年9月1日現在)

3 I R A Cコード及びF R A Cコードについて

病害虫の薬剤抵抗性発現防止の観点から、I R A C（世界農薬工業連盟殺虫剤抵抗性対策委員会）及びF R A C（同連盟殺菌剤耐性菌対策委員会）の農薬有効成分作用機構分類コードを記載しています。

農薬工業会ホームページ <http://www.jcpa.or.jp/lab0/mechanism.html>

<農薬使用上の注意事項>

- 1 農薬は、必ず最新のデータ及びラベル等を確認の上、使用する。
- 2 剤の使用回数、成分毎の総使用回数、使用量及び希釈倍率は使用の都度確認する。特に、蚕や魚に対して影響の強い農薬など、使用上注意を要する薬剤を用いる場合は、周辺への危被害防止対策に万全を期すること。
- 3 農薬の選定に当たっては、系統の異なる薬剤を交互に散布する。
- 4 農薬を散布するときは、農薬が周辺に飛散しないよう注意する。
- 5 周辺の住民に配慮し、農薬使用の前に周知徹底する。

問い合わせ先 埼玉県病害虫防除所 TEL：048-539-0661